

---

# 崩れた日常、壊れた感覚

こーるど

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

崩れた日常、壊れた感覚

### 【Nコード】

N3828E

### 【作者名】

こーるど

### 【あらすじ】

今となつては壊れた事に後悔はしない。只、思い出すのは覚醒する直前の事だけ。それでも僕は戻らない、戻れない。さあ、零崎を初めてみよーか。

言わなければ、崩れる事は無かったのに

聴かなければ、白いままで居られたのに

見えなければ、壊さずに済んだ筈なのに

知らなければ、自分で無くなる気がしたから

「どうしたの？」

「何だい、急に」

君は何時も違う相手を想っているのに

「んー、何か淋しそうだったから」

「そうかなあ？自分じゃ分からないよ」

僕は見えてない癖に、

「多分、貴方は寂しいんだよ。そして貴方は辛いんだと思う」

何故そんなことを言うんだろう

何故、僕はそんなことを考えるのだろう

「心配　　してくれてるのかい？」

「当たり前だよ」

「当たり前？どうしてそんな言葉が出てくるんだい？」

「私は貴方が好きだから」

僕は君を想っていて  
君は僕を好いている

けれど、君は誰かを愛してて  
僕は、君を壊そうとする

自分の気持ちに気付いた時、何も考えられなくなった  
ただ、沸き上がる衝動のままに動いていた

目覚めた時には君はもう動かない  
ボクには何も残らない

罪悪感も嫌悪感も虚無感も君も、自分も

\*\*\*\*\*

もう守る物なんて何もない  
なら、壊してしまおう  
僕を見捨てた此の世界を

彼《白》は言った

白とは光から嫌われた色

全てから迫害される劣悪な色

そして今、彼《白》は人を棄てた

守る物を探すためであり、壊すために

\*\*\*\*\*

後戻りなんて既に出来ないし、するつもりも無い

今からは僕の独り舞台、独壇場だ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3828e/>

---

崩れた日常、壊れた感覚

2010年12月25日23時22分発行